

伊藤ひろし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

湾岸埋立地域の水道管 速やかに管路耐震化を

伊藤寛県議(習志野市選出、2期)は2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、震災への備えを中心に県の施策を聞きまし。習志野市は東日本大震災の際、土地の液化化で大きな被害が発生しましたが、伊藤県議は埋立地に埋設されている水道管の耐震化について質問、大地震襲来に備えて、湾岸埋立地域の耐震化をしっかりと進めてほしいと要望しました。伊藤県議の質問と県担当者の答弁を紹介します。

2月定例県議会予算委員会

伊藤委員 現在、県営水道では、令和3年度から令和7年度までを計画期間とした千葉県営水道事業中期経営計画において、震災時の被害が甚大であった湾岸埋立地域や、災害時の拠点となる病院などの最重要給水施設に供給する管路の耐震化を優先的に進めていると聞いている。そこだろうかすが、習志野市を含む湾岸埋立地域における管路の耐震化の進捗状況はどうか。給水課長 令和5年度末における湾岸埋立地域の管路延長約698キロメートルに対し、耐震化延長は、約436キロメートルで、耐震化率は62.4%となっています。伊藤委員 湾岸埋立地域と同様に、現在、優先的に進めている最重要給水施設に供給する管路の耐震化の進捗状況はどうか。給水課長 令和5年度末における最重要給水施設に供給する管路延長約60キロメートルに対し、耐震化延長は、約



防災施策を質問する伊藤寛県議

高潮から住宅地を守る 高瀬川、水門整備へ

32キロメートルで、耐震化率は54.2%となっています。伊藤委員 中期経営計画における湾岸埋立地域及び最重要給水施設に供給する管路の耐震化の目標達成見込みはどうか。

企業局長 湾岸埋立地域等の管路の更新については、交通量の多い箇所での工事や他の企業の埋設管が近接していた工事などにおいて、施工方法などに係る道路管理者等との協議、調整に時間を要したことにより、これまでの進捗に、若干遅れが出ています。

伊藤委員 東京湾は高潮の影響を強く受けるため、私の地元習志野市も、ひとたび、高潮が発生すれば、市民や産業などに甚大な被害が発生することになる。特に谷津船橋インターチェンジの南側には、菊田川をはじめ、谷津川と高瀬川の河口部があり、背後の住宅地を高潮被害から守るためには、水門の整備は待ったなしと、私も答弁のたびに対策を強く求めてきた。

おかげで、昨年6月の一般質問では、3機の水門と2カ所の排水機場を新たに整備し、船橋側の高瀬川から順次、水門整備を進めていくとの答弁を頂き、早期実現を期待している。そこだろうかすが、高瀬川の水門整備の進捗状況はどうか。河川整備課長 高瀬川の水門につきましては、令和

以上の耐震化率について、概ね達成できる見込みです。伊藤委員 湾岸埋立地域などの都市部における管路の入れ替え工事は、進めていく上で、交通量が多い箇所や施工条件が厳しい場所もあると思つた。しかし、現在、優先的に進めている湾岸埋立地域の管路や、最重要給水施設への管路は、地震発生時に破損するリスクを考えると、早急に耐震化率を100%にすることが望ましいと考える。このため、次期中期経営計画においても、スビ

7年度からの水門本体の工事に先立ち、本年1月より水門用地の造成及び仮囲いの設置を開始したところ。伊藤委員 令和7年度の整備予定はどうか。河川整備課長 令和7年度は、水門本体工事に着手する予定であり、令和9年度の完成を目指して引き続き取り組んでまいります。

伊藤委員 高瀬川早期に進めていただき、その後予定されている谷津川、菊田川の水門整備等に、一日も早く着手していただくよう強く要望する。

伊藤ひろし県議プロフィール

□ 略 歴 □

- 1975年 富山県に生まれる
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒 薬品販売業に従事
- 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選(2期)

□ 現 職 □

- 県議会 健康福祉常任委員会委員

□ 資 格 □

- 中学・高校教員免許、防災士

● 県政や習志野市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

伊藤ひろし 県議事務所

〒275-0021 習志野市袖ヶ浦2-4-1-102 TEL.047(454)8358

ードを緩めることなく、しっかりと管路の耐震化を進めて頂くよう強く要望する。

激甚災害で大量の廃棄物

迅速処理への備え重要

伊藤委員 大規模災害が発生した場合、大量の災害廃棄物の発生が想定される。災害廃棄物は「一般廃棄物」であることから、市町村が処理を実施することとなるが、被災地の復旧・復興のためには、市町村の災害廃棄物の迅速な処理等が求められる。



東日本大震災で山積みになった震災廃棄物

そのためには、平時からの市町村間の協定による相互応援体制の整備や、災害時に一時的に災害廃棄物を保管する仮置き場候補地の選定、災害時の対応や課題についての情報共有といった日頃からの備えが重要と認識している。

そこだろうかすが、災害廃棄物処理対応力強化事業については令和7年度は、どのような取組を行うのか。循環型社会推進課長 本事業では、まず災害廃棄物

処理計画について、近年の災害の激甚化等を踏まえ、水害による廃棄物の発生量の推計方法等について検討を行います。

また、市町村職員向けの災害廃棄物初任者研修や仮

習志野市鷺沼地区 土地区画整理進む

伊藤委員 習志野市鷺沼地区の土地区画整理事業だが、同地区は幕張本郷駅にも近く、交通便利性が大変高いところから、その立地条件を活かして、緑豊かで良質な市街地を目指し、住宅や商業施設、医療福祉施設、防災機能を備えた公園などが計画されている。

そこだろうかすが、鷺沼地区の土地区画整理事業の進捗状況はどうか。市街地整備課長 進捗状況については、令和5年9月の事業着手以降、換地設計や埋蔵文化財調査を行っており、現在、地区全体で造成工事を進めているところです。

都市計画道藤崎茜浜線 0.6キロバス整備

伊藤委員 都市計画道路藤崎茜浜線の進捗状況はどうか。道路整備課長 都市計画道路藤崎茜浜線は、JR総武線、京成本線及び京成千葉線を跨ぐ橋梁を含む0.6キロのバスを整備しており、昨年9月に橋梁上部工の架設が完了しま

伊藤委員 引き続き、橋梁の前後に隣接する区間において、現地の地盤状況の確認も行いながら、擁壁や横断函渠の工事を進めており、引き続き、橋面上部の排水施設などの工事を実施することとしています。

伊藤委員 引き続き、早期供用開始に向けて、継続的に必要な予算を確保し、事業を進めていただくよう要望する。

置場の実地研修について、過去の事例を踏まえた事務のスケジュール説明や仮置場の設置、搬入のシミュレーションを行うなど、より実効性を高める内容とすることに

より、市町村の人材育成及び災害対応力強化を図ることとしています。



県担当者の答弁を聞く伊藤県議

伊藤委員 津田沼地区における無電柱化の進捗状況はどうか。道路環境課長 県道津田沼停車場線津田沼地区では、道路延長0.6キロの両側、1.2キロの区間で無電柱化を行うこととして

津田沼停車場線 津田沼地区を無電柱化

この地区では、電気、上下水道、ガスなど関係する多数の道路占有事業者と調整の上、昨年8月に設計が完了しており、現在、各事業者において移設等の準備を進めているところです。

伊藤委員 引き続き、支障となる施設の移設等を進めていただくよう要望する。

県道長沼船橋線で 歩行者の安全対策

伊藤委員 県道長沼船橋線の習志野市内で側溝蓋の入替など即効性のある歩行者の安全対策を行っているが、その進捗状況はどうか。道路環境課長 習志野市実町から藤崎地先までの約3.5キロの両側で行っている、側溝蓋の入替などの歩行者の安全対策は、これまでに船橋約2.5キロで対策が完了しました。

現在、実町交差点の西側約0.2キロの両側で側溝蓋の入替工事を進めております。

現在、橋梁の前後に隣接する区間において、現地の地盤状況の確認も行いながら、擁壁や横断函渠の工事を進めており、引き続き、橋面上部の排水施設などの工事を実施することとしています。

伊藤委員 引き続き、早期供用開始に向けて、継続的に必要な予算を確保し、事業を進めていただくよう要望する。

伊藤委員 谷津川においても、洪水浸水想定区域内には病院等の重要施設も含まれているので、河川監視カメラ等の設置に向けて、検討していただくよう要望する。

習志野の河川を監視 水位計やカメラ設置

伊藤委員 習志野3河川における危機管理型水位計や河川監視カメラの設置状況はどうか。河川環境課長 菊田川、谷津川、高瀬川のいわゆる習志野3河川においては、

昨年度、菊田川に危機管理型水位計を1基設置し、今年度は、高瀬川に危機管理型水位計及び河川監視カメラを各1基設置する予定です。

のうち2河川において、危機管理型水位計や河川監視カメラが設置されるとのことだが、どのような考えに基づいて設置しているのか。

伊藤委員 習志野3河川

河川環境課長 危機管理